読響 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

《皇帝》&《英雄の生涯》

休日午後に楽しむドイツ二大名曲選

©読響

フランクフルト歌劇場の音楽総監督
ドイツを代表する名匠
セバスティアン・ヴァイグレ（常任指揮者）
Conductor = SEBASTIAN WEIGLE

日下紗矢子
（特別客演コンサートマスター）
Concertmaster = SAYAKO KUSAKA

チャイコフスキー国際コンクール第2位
桁違いの才能で注目を浴びる新鋭
ルーカス・ゲニューシャス（ピアノ）
Piano = LUKAS GENIUŠAS

©Mikhail Krutman

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 作品73 「皇帝」
BEETHOVEN: Piano Concerto No. 5 in E flat major, op. 73 "Emperor"

R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」 作品40
R. STRAUSS: Ein Heldenleben, op. 40

読売日本交響楽団 第225回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 225

2020年3月14日（土）14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール（池袋）
Saturday, 14th March 2020, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,600　A¥5,600　B¥4,600　C¥4,100

読売日本交響楽団 第225回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 225

2020年3月15日（日）14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール（池袋）
Sunday, 15th March 2020, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,600　A¥5,600　B¥4,600　C¥4,100

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390（10時～18時・年中無休）
https://yomikyo.or.jp/

ドイツを代表する名匠セバスティアン・ヴァイグレが、ドイツ音楽の中でも傑作として知られる二つの作品を指揮する。前半は、ベートーヴェンのピアノ協奏曲の中でも最も人気の高い第5番《皇帝》。休憩後は、リヒャルト・シュトラウスの代表作《英雄の生涯》で、100名を超える大オーケストラによる華麗なサウンドが会場に響く。

《皇帝》でソロを弾くのは、ロシア生まれのピアノの大器ルーカス・ゲニューシャス。チャイコフスキー国際コンクール第2位に輝き、欧州で注目を浴びる新鋭ピアニストだ。勢いよく駆け上がる冒頭の大胆なソロに始まり、ピアノが管弦楽と対話を繰り返すように展開する。夢見るような美しい第2楽章、喜びを表した舞曲のように快活に弾む第3楽章と続き、全編を通してピアノという独奏楽器の魅力が随所にあふれている。今年は、ベートーヴェンの生誕250周年の“記念イヤー”。何度聴いても朽ちない名曲《皇帝》を、名手ゲニューシャスの創造性豊かでエネルギーに満ちた演奏でお楽しみいただきたい。

後半は、R.シュトラウスの代表的な交響詩《英雄の生涯》。R.シュトラウスが交響詩の集大成として、自らを英雄に重ねて作曲したとされている。読響常任指揮者セバスティアン・ヴァイグレが最も得意とするレパートリーの一つだ。ヴァイグレはフランクフルト歌劇場やベルリン国立歌劇場などでR.シュトラウスのオペラ作品も数多く手がけていることから、R.シュトラウス流の“歌わせ方”を十分に心得ている。細部まで美意識を行き届かせながら、オーケストラを自在にドライヴし、ライヴ感あふれる演奏が期待できそうだ。オペラを見るような、手に汗握るドラマティックな音楽に、会場は興奮のるつぼと化すだろう。特別客演コンサートマスターの日下紗矢子の艶やかなソロにもご注目いただきたい。

休日午後に楽しむ二大ドイツ音楽名曲選

《皇帝》&《英雄の生涯》

指揮＝セバスティアン・ヴァイグレ

©読響

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス〈影のない女〉を振り、雑誌『オーパンヴェルト』の年間最優秀指揮者に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は『オーパンヴェルト』の年間最優秀オーケストラや年間最優秀歌劇場に輝くなど、その手腕は高く評価されている。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。

ピアノ＝ルーカス・ゲニューシャス

©Mikhail Krutman

桁違いの才能を持ち、欧米で注目を浴びるピアノの大器。1990年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院の教授であった祖母ゴルノスターエワから影響を受ける。バッカウアー国際コンクール優勝。2010年のショパン国際コンクールと2015年のチャイコフスキー国際コンクールで第2位。ゲルギエフ、プレトニョフ、スラットキン、ソヒエフらの指揮で、サンクトペテルブルク・フィル、マリインスキー歌劇場管、フランス放送フィル、バーミンガム市響、モントリオール響などと共演。ラ・ロック・ダンテロン音楽祭、ロッケンハウス音楽祭などに出演。レパートリーはベートーヴェンからヒンデミット、ジョン・アダムズまで幅広い。メロディア・レーベルなどからCDをリリースしており、ディアパソン・ドール賞などに輝いている。

読売日本交響楽団 第225回土曜マチネーシリーズ
2020年3月14日（土）14時開演
S ¥7,600／A ¥5,600／B ¥4,600／C ¥4,100

読売日本交響楽団 第225回日曜マチネーシリーズ
2020年3月15日（日）14時開演
S ¥7,600／A ¥5,600／B ¥4,600／C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール（池袋） 東京都豊島区西池袋1-8-1　Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（＊駅地下通路2b出口と直結しています）

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります（公演1週間前までに予約）。わらべうた0120-415-306（予約受付：平日9時-17時）
学 **学生券**：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
＊10時–18時・年中無休

読響チケットWEB http://yomikyo.pia.jp/
＊座席選択可／チケット郵送料無料

プレイガイド | チケットぴあ 0570-02-9999 | 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296